

2/9
(金)

仕事への思いを力強く発表

消防職員意見発表会



この発表会は職員の自覚と志気の高揚、資質の向上を目的に開催されており、今年は各署の代表6人が職務にまつわる教訓や抱負、提案などを発表しました。

緊張感が漂うなか、力強く思いのこもった言葉で発表が行われ、「備え」と題して発表をした崎田幸亮さんが最優秀賞に選ばれました。

崎田さんは4月12日に開催される第47回長崎県下消防職員意見発表会に市代表として出場します。

2/3
~4

新人選手のフレッシュな試合

第27回弥生杯小学生バレーボール新人大会



松浦市小学生バレーボール連盟が主催するこの大会は、バレーボールを通じて児童のふれあいと交流の機会を広げ、技術向上と試合に参加する喜びを体験してもらおうと開催されています。

当日は県内外から女子35チーム、混合チーム16チームが参加。7会場に分かれて予選、決勝が行われ、子どもたちは熱い声援に負けじと大きな声と積極的なプレーで熱戦を繰り広げました。

ま
ち
の
話
題

2/16
(金)

特産品をモチーフにした中学生 考案のキャラクターがお披露目

今福中学校



中学校では、前回開催された子ども議会の際に、市のPRを行う特産品をイメージしたキャラクターを募集。生徒から集まった作品約20点の中から「マメア君(2年 坂本悠湊さん)」「まつあじ君(3年 前田陽菜乃さん)」が全校生徒の投票により選ばれ、市の協力を得てイラスト化されました。

マメア君はマーコット、メロン、アジフライの頭文字から名付けられ、まつあじ君はアツアツで美味しそうな頭がチャームポイントのキャラクターです。

2/14
(水)

特産品のお茶をもっと身近に

ながさきグリ茶研究会 ほうもつまさよし (寶持雅祥会長)



同会が松浦高校でお茶の淹れ方教室を開き、3年生58人が参加しました。

同会は佐世保市、松浦市、佐々町のお茶の若手生産者5人で組織され、お茶を飲む習慣を次世代に受け継いでもらいたいと、これから社会に羽ばたく3年生を対象に開催しています。

5年ぶりとなる今回は、お茶の知識を深め、実際にお茶を入れて茶葉やお湯の量、浸出時間で味が変わることを体験。生徒は身近な飲み物であり、地域の特産品であるお茶の魅力を改めて知る良い機会となりました。